

成果目標について

【 目標年度 = 令和9年度(2027年度) 】

● 必須目標

項目	以下の目標を必ず設定すること。
①付加価値額の拡大	付加価値額(収入総額 - 費用総額 + 人件費)の拡大に取り組む。

● 選択目標

項目	以下の②~④のうち1つ以上を設定すること。
②農産物の価値向上	新品種の導入、栽培管理技術の改善等による農産物の品質の向上、加工や契約栽培等の新たな販売方式の導入等により農産物の価値向上に取り組む。又は、輸出、異分野の事業者との連携等により農産物の新たな市場の開拓等に取り組む。
③単位面積当たり収量の増加	新品種の導入、栽培管理技術の改善等による単位面積当たりの収量の増加に取り組む。
④経営コストの縮減	栽培管理技術の改善、作業の効率化、生産資材の効率利用等により経営コストの縮減に取り組む。

● 事業関連取組目標

項目	配分基準表の項目欄について、目標年度までに実施することとしてポイント化した場合は、対応する項目を目標として設定すること。			
⑤経営面積の拡大	利用権の設定等又は農作業の受託をして現状より経営面積の拡大を行う。			
⑥労働時間の縮減	栽培・管理技術の改善、作業の効率化等により、農作業の一部又は全部の労働時間の削減に取り組む。			
⑦経営管理の高度化	<table border="1"><tbody><tr><td>ア 農業経営の法人化を行う。</td></tr><tr><td>イ 青色申告承認申請書を提出し、青色申告を行う。</td></tr><tr><td>ウ 有機JASの認証を受ける。</td></tr></tbody></table>	ア 農業経営の法人化を行う。	イ 青色申告承認申請書を提出し、青色申告を行う。	ウ 有機JASの認証を受ける。
ア 農業経営の法人化を行う。				
イ 青色申告承認申請書を提出し、青色申告を行う。				
ウ 有機JASの認証を受ける。				

注意事項 成果目標は、原則として経営体の取組全体を対象として設定するものとする。